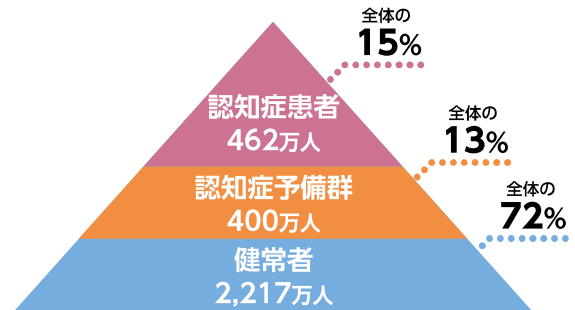


# 認知症の現状とこれから…

日本の高齢化率はますます上昇しており、総人口の28.7%、つまり約3.5人に1人が65歳以上の高齢者となっています。高齢化率は今後もさらに上昇し続けると予測されており、このような背景とともに認知症を発症する高齢者の数も増え続けています。

2012年時点においては、認知症患者は約462万人、将来認知症を発症する可能性の高い予備群は約400万人と推計されています。

さらに、最新の調査では、2025年には認知症患者が全国で約700万人となり、65歳以上の約5人に1人が認知症になると予想されています。

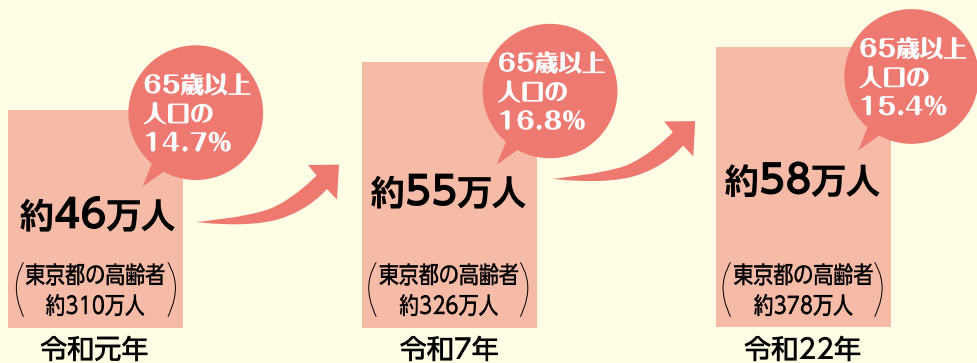


65歳以上の高齢者における認知症の現状(平成24年推計)  
出典：厚生労働省資料



認知症の現状とこれから…

## 東京都の認知症高齢者の推計



資料:東京都福祉保健局「令和元年度認知症高齢者数等の分布調査」(令和2年3月)